

奄美群島振興開発基本方針の概要

I 序文

- 厳しい地理的、自然的、歴史的特殊事情による不利性を克服するため産業の振興、社会資本整備等の施策の結果、一定の成果が見られるが、いまだに人口流出・人口減少が続いている。今後は、産業振興等に直接働きかけるソフト施策により力点を置く。
- 地元が主体的に「成長戦略ビジョン」を策定したことを評価し、政府としても積極的に支援をすることが重要。
- 法改正で、法の目的に「定住の促進」を加え、地元の裁量に基づく施策の展開を後押しする交付金制度等を創設。

II 奄美群島の振興開発の意義及び方向

1 奄美群島の役割

奄美群島は、①豊かな自然環境、②多様で個性的な伝統文化、③長寿・子宝・癒しの島、④食料の供給、⑤我が国の領域の保全、の点で我が国及び国民にとって重要な役割を担っている。

2 振興開発の意義

上記の役割を十分に発揮するためには、人が住み続けることが重要。若年層を中心に、人口流出・人口減少が続いている厳しい環境の中で、産業振興、雇用拡大が大きな課題。このため、奄美群島の振興開発により、自律的發展、定住の促進等を図ることが重要。

3 振興開発の方向

定住の促進を図る観点から、地域の特性に応じた産業振興、雇用拡大等を推進。交付金制度等を活用。その際、沖縄との調和及び連携を考慮。

(1) 奄美群島の特性を活かした産業の発展による雇用機会の拡充

農業、観光、情報通信を重点3分野として定める。

(2) 生活の利便性の向上

豊かな自然環境、長寿・子宝・癒しの島などといった特有な魅力と価値を次世代につないでいくという理念の下で生活の安定及び福祉の向上を図るため、介護、医療、防災、教育等の定住環境を整備。

(3) 社会資本の整備及び維持管理

定住を促進するため、必要な社会資本の整備等を実施。

(4) 世界自然遺産国内候補地としての環境保全と地域資源を活かした観光の振興

世界自然遺産国内候補地として、環境保全に積極的に取り組むとともに、自然環境の保全と利用の調和に配慮しつつ地域資源を活かした観光の振興等を推進する。

Ⅲ 奄美群島の振興開発を図るための基本的事項

1 地域の特性に即した農林水産業、商工業等の産業の振興開発

(1) 農林水産業の振興

高付加価値型農業の育成等

(2) 情報通信産業等の振興

(3) 地域資源を活用した商工業等の産業の振興

2 雇用機会の拡充、職業能力の開発その他の就業の促進

3 観光の開発

4 道路、港湾、空港等の交通施設及び通信施設の整備、人の往来並びに物資の流通及び廃棄物の運搬に要する費用の低廉化等

(1) 交通施設の整備等

(2) 人の往来並びに物資の流通及び廃棄物の運搬に要する費用の低廉化

航路・航空路運賃、農水産物の輸送費の軽減等

(3) 情報通信の確保

5 住宅及び生活環境の整備

6 保健衛生の向上

7 高齢者の福祉その他の福祉の増進

8 医療の確保等

9 防災及び国土保全に係る施設の整備

10 自然環境の保全及び再生並びに公害の防止

11 再生可能エネルギー源の利用その他のエネルギーの供給

12 教育及び文化の振興

13 国内及び国外の地域との交流の促進

14 奄美群島の振興開発に寄与する人材の確保及び育成

15 奄美群島の振興開発に係る(独)奄美基金、事業者、住民、NPOその他の関係者間における連携及び協力の確保

Ⅳ その他

交付金事業計画、振興開発計画に掲げる事業等には、諸施策の目的を明確にする成果目標を設定するとともに、その達成状況について定期的に評価を実施